

文化人材バンク「パフォーマーズやまぐち」の出演情報

やまぐち文化プログラム実行委員会では、様々なイベントを活用し、「パフォーマーズやまぐち」による発表の場づくりを進めています。

令和2年2月23日（日）に、維新みらいふスタジアムで行われたレノファ山口FCの開幕戦に、萩光塩学院高等学校書道部が出演し、書道パフォーマンスを披露されました。

音楽をバックに躍動しながら、大小様々な筆を用いて、6m×4mの大判紙に応援メッセージを書き上げるパフォーマンスは、集まった多くのサポーターを魅了しました。

また、試合前にはスタジアム場内を行進し、魂のこもった熱い応援メッセージを選手とサポーターに届け、レノファ山口の開幕戦勝利とJ1昇格へ舞い上げる大きな風を起こしてくれました。



令和元年11月30日（土）に、萩市民館で行われた、第17回全国藩校サミット萩大会のオープニングセレモニーに、住吉神社お船謡保存会が出演しました。

旧藩主のご子孫や藩校関係者をはじめ全国からの来場者約800人を前に、萩の地で伝承されてきた県無形指定文化財の「お船謡」を披露し、三味線や太鼓の囃子に法螺貝を組み入れた演唱は、山口県初開催となった本サミットの開幕祝いを演出しました。



また、続いて行われた子ども文化活動に、萩光塩学院高等学校書道部が出演し、書道パフォーマンスを披露されました。

9人の生徒による、元気なかけ声とダンスを織り交ぜたステージパフォーマンスは若さと躍動感にあふれ、そのダイナミックでかつ優美な中に、郷土の歴史と誇りを感じさせる「魅せる書道」は、会場を大いに盛り上げました。



令和元年10月15日（火）に、ホテルニュータナカ（山口市）で行われた、ベトナム・ビンズン省歓迎レセプションにおいて、山口大学文化会邦楽部が出演しました。

友好交流5周年を記念して来県されたベトナム・ビンズン省からの訪問団の方々を前に、着物姿の4人による邦楽の演奏が行われ、箏3面と尺八1管で紡ぎ出されるハーモニーで和やかな友好ムードを演出し、会場の皆さんは、和装の美しさと優雅な音色の双方で日本の伝統文化の魅力を存分に堪能されていました。



令和元年9月29日(日)に、大正の時代から100年の歴史を持つ愛媛県内子町の劇場「内子座」にて開催されました第28回中四国文化の集い「歌と踊りのフェスティバル in 愛媛」に、「山代白羽神楽保存会」と「北中山こども神楽」がコラボ出演しました。

披露した演目は、目標を達成させようとする太夫とその心の闇に隠れた欲望が争う悪魔祓いの舞「三鬼(さんき)」で、欲望を鬼にたとえ、取り組もうとする意欲を弓にたとえるなど、人間の心の問答を神楽化したものでした。

子ども神楽ならではの愛らしい鬼の表情と、太夫と鬼が戦う迫力ある様に観客は魅了され、客席を含めた会場全体を使ったパフォーマンスに大きな拍手と歓声が上がりました。



令和元年6月6日(木)にホテルニュータナカ(山口市)で行われた、山口県文化連盟主催の文化交流会のオープニングアトラクションにおいて、児島まさ子さんと上野美科さんが出演し、県内の文化関係者約170人が集まる中、ヴァイオリンとヴィオラを演奏しました。

演目は、下関市を舞台とし小泉八雲の怪談でおなじみの「耳なし芳一」で、朗読とコラボした、物語の悲しさや無常さの漂うアンサンブルに、会場はグッと引き込まれました。



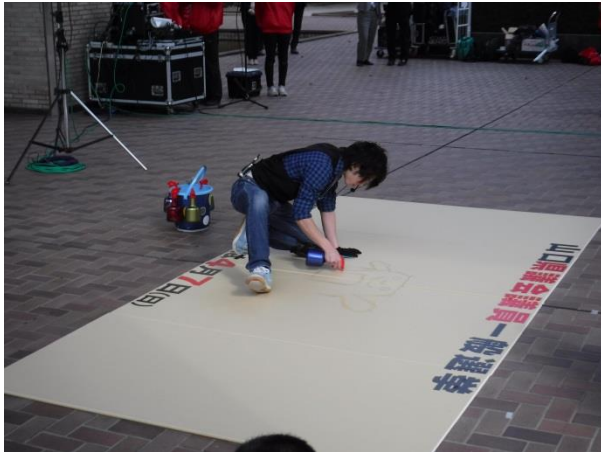
また、文化交流会では、Mr. MANEさん(マジック)、五郎&あけみさん(サクソ)、小郡トリックらぶさん(大道芸)、茜屋出雲流茜会さん(日本舞踊)、堀川玄太さん(ウォーターアートパフォーマンス)から、活動紹介を兼ねたパフォーマンス等もあり、交流会を大いに盛り上げました。



2019/06/06

平成31年3月28日（木）に、山口県庁ピロティで行われた「山口県議会議員選挙 啓発キャラバン隊出発式」に、堀川玄太さんが出演し、ウォーターアートパフォーマンスを披露しました。

春の息吹を感じる青空のもと、霧吹きを使用して、選挙キャラクター「めいすいくん」を石膏ボードに描き、鮮やかな筆さばきならぬ霧吹きさばきに会場は引きつけられ、選挙啓発のイメージアップになりました。



平成 31 年 3 月 23 日（土）に、新山口駅で行われた山口県の観光キャンペーンの PR イベントに、マジシャン喜助（神田勝巳）さんが出演しました。

観光プロモーションの新たなキャッチフレーズ「YAMAGUCHI MAGIC!」のスタートアップにふさわしく、観光客の方々などの前で、リングやスカーフ、人形、絵本等を用いた多彩なマジックが披露されました。

会場には小さなお子さんや海外の方も集まり、その鮮やかで息もつかせぬパフォーマンスに、はじめは驚きの様子でしたが、最後は手拍子やかけ声とともに、キャンペーンを一緒に盛り上げていただきました。



平成 31 年 3 月 20 日（水）に、山口県立美術館で行われた「扇の国、日本」のオープニングセレモニーにおいて、生田流筑紫琴鳳会（いくたりゅうちくしきんおうかい）と日本尺八連盟山口県支部が出演しました。

展示のテーマに因んで、琴と尺八による邦楽の演奏が行われ、「春が来た」「春の小川」「ちょうちょ」といった馴染みのある曲も織り交ぜられるなど、日本の伝統や春を感じさせる優雅な演奏に、来場者もすっかり聞き入っておられ、会場は「扇の国、日本」の世界観に彩られました。

